

研究成果物の紹介

リーフレット「自閉症のある子どもの自立活動と各教科等の関連を図った指導を考えよう！」

国立特別支援教育総合研究所
自閉症教育研究班
石本 直巳



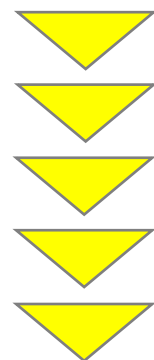
01 研究成果物の紹介

令和7年3月刊行 自閉症のある子どもの自立活動と 各教科等の関連を図った指導を 考えよう！



01 研究成果物の紹介

集中して話を 聞く方法を考 えた実践



特別支援学級の
学びを交流
学級へ



特別支援学級
での指導に関
する情報を共
有する

交流学級の様子、学習環境等を考慮した指導・支援の検討



01 研究成果物の紹介

自立活動と各教科等との関連を考える

- はるとさんの困難さを**共有**する
各教科等での様子も合わせて情報収集する
- 自立活動の指導内容を**共有**する
- 指導の経過や様子を**共有**する
- 具体的な指導・支援の方法を知り、実際に対応する



01 研究成果物の紹介

①実態把握

- ・各教科等の様子
- ・よさと課題

②中心的な課題

- ・背景に注目

③関連を図る

- ・配慮、手立ての明確化
- ・情報共有

自立活動と各教科等の関連を図るための具体的な取組の紹介

かおりさんの場合

しょうた先生は、特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編に示された流れ図を活用し、自立活動と各教科等の関連を整理しました。その実践について紹介します。

1 実態把握シートを使って各教科等でのよさや課題を洗い出しましょう

実態把握

障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよさ、課題等



かおりさん
(小2)

- ・体育では、「やりたくない」と言って苦手な活動に参加しない。特に、初めての活動に対する抵抗感が強い。自分なりにルールが分かるとその部分だけ、参加することがあった。
- ・国語や算数、生活では、集中していない時があり、指示や説明を聞き漏らすことが多い。
- ・友達と積極的に関わろうとするが、自分の思いを一方的に伝えることがある。

かおりさんと関わりのある先生が把握している情報をお互いに交換しましょう。

自立活動の指導目標、指導内容の考え方については、QRコードからリファレットへ！



2 困難さの背景に基づき、中心的な課題を明確化しましょう

中心的な課題の整理

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
学習で集中を持続することが難しい(1)。初めての活動への参加に抵抗を示すことがある(2)。	やりたくない活動があると、席を離れたたり、廊下に出たりする(4)。	複雑なルールのある活動に対して、苦手ががある(5)。	はさみやカッターを使った活動に苦手なところがある(3)。	話し事に注意を向け続けることが難しく、指示を聞き漏らすことがある(2)。言葉で説明することに苦手ががある(2)。	

中心的な課題 活動への見通しがもてない状況になると、参加の意欲が低下する。

自立活動の指導目標 活動内容やルールを理解して見通しもち、苦手な授業に参加する。

中心的な課題を導き出すために、複数の先生で情報を共有しましょう。中学校では、各教科担任の先生から多くの情報が集まりますね！

3 自立活動の指導内容と各教科等の指導の関連を整理しましょう

自立活動と各教科等の指導の関連整理

自立活動の指導と関連を図る各教科等		
各教科等(指導の場)	各教科等での配慮や手立て	自立活動の指導内容(①、②)
体育 (交流学級)	・新しい活動の時は、見通しがもてるように内容やルールを視覚化して伝える。 ・声をかけながら、質問を引き出していく。	【指導内容①】活動前に内容やルールを確認したり、視覚化したりする。
国語・算数 (特別支援学級) 生活 (交流学級)	・授業に参加しているときの気持ちを共有する。 ・がんばりたいことに対して、活動後すぐにフィードバックを行い、集中や意欲が続くようにする。	【指導内容②】約束事ががんばりたいことを決め、感情を視覚化したカードを使って不安を共有し、気持ちの安定を図る。

自立活動と各教科等の指導の関連を図るときには、特別支援学級の先生と交流学級の先生が自立活動の指導目標や指導内容を共有することが大切です！

指導の関連の様子を具体的に見てみましょう！

指導の記録

各教科等の指導の様子

- ・体育の授業中、理由を言わず、「やりたくない」と交流学級の先生に伝えて、途中から参加しなくなった。
- ・これを機に体育の授業は、「出ない」と言う姿が見られた。

- ・体育の授業の活動内容やルールが分かって、活動に対して見通しがもてるようになった。少しずつ、自分から初めての活動に挑戦する姿が見られた。

- ・どうしても分からない状況で自分から先生に質問することがあった。

- ・他の教科でも45分間の授業に参加できるようにするために話し合った。初めての授業や活動の時は、不安な気持ちが強くなることを話してくれた。

- ・「気持ちカード」と自分の気持ちを重ねて表出できたことで、不安な気持ちが軽減され、前向きな発言が多くなった。

- ・授業前に特別支援学級の先生に今日の授業の活動内容を伝え、がんばるポイントを確認した。

- ・付箋に「3つのがんばること」を書いた「役立ちカード」を持って授業に参加した。
- ・「3つのがんばること」に対して、活動後に花丸やコメントをもらって嬉しそう表情をしていた。



必要な配慮や手立て

- ・見通しがもてるように内容やルールを視覚化して伝える。
- ・活動後、すぐにフィードバックを行い、集中や意欲が続くようにする。

自立活動の指導の様子

- ・体育の授業について、振り返りを行った。
- ・学習活動や学習内容を視覚化した。
- ・「分からない時は質問すること」を指導して、実際の場面を想定して練習した。



- ・オリジナルキャラクター入りの「気持ちカード」作りを行った。自分の気持ちやがんばりたいことをみんなと共有し、カードを使って伝え合うことで、がんばる体験を重ねた。



- ・交流学級の先生から聞いた活動内容を伝え、その中から自分でがんばりたいことを3つ選んで付箋に書いた「役立ちカード」を作った。



- ・前向きな気持ちで取り組めるように、自分の感情を表す「気持ちカード」も一緒に貼った。

- ・次の授業に向けて、自分から「3つのがんばること」を決めて、「気持ちカード」を貼り、「役立ちカード」を完成させることができた。

- ・「気持ちカード」を選ぶことで、自分の感情面の課題を受け止めながら、活動に参加することができるようになった。



01 研究成果物の紹介

役割分担と連携

- 特別支援学級担任は、自立活動の指導が各教科等の指導に生かされているのか、評価する
- 交流学級担任は、自立活動の学習を把握し、それを参考にして各教科等の指導で配慮をする
- 連携のためには、個別の指導計画に内容を反映させていく



01 研究成果物の紹介

◎ダウンロード 国立特別支援教育総合研究所リポジトリ



<https://nise.repo.nii.ac.jp/>

ホーム 運用方針 登録申請
トップ ランキング

自閉症 自立活動 | 🔍

入力後、Enterキーを押下し検索してください

🔍 検索

▼ 詳細検索

🔵 全文 ○ キーワード

統計期間：2024-08-05 ~ 2025-08-05

最もダウンロードされたアイテム

- 1 (3423) 自閉症のある子どもの自立活動と各教科等の関連を図った指導を考えよう！
- 2 (587) 障害者権利条約第24条の条文の解釈 -我が国のインクルーシブ教育システム構築に向けた国の施策立案の基本資料として-
- 3 (570) 肢体不自由児の障害特性を踏まえたICT活用事例集
- 4 (543) 国立特別支援教育総合研究所要覧2022
- 5 (542) 慢性疾患、心身症、情緒及び行動の障害を伴う不登校の経験のある子どもの教育支援に関するガイドブック
- 6 (524) 国立特別支援教育総合研究所要覧2024
- 7 (471) 国立特別支援教育総合研究所ジャーナル第14号
- 8 (459) 社会とのつながりを意識した発達障害等への専門性のある支援に関する研

ここをクリック！



リポジトリを利用する皆様へ

登録されている成果物の著作権は、執筆者、出版社（学協会）などが有します。

著作権法に規定されている私的利用や引用などの範囲内で利用してください。

著作権法に規定されている私的利用や引用などの範囲を超える利用を行う場合には、著作権者の許諾を得てください。

出版者が国立特別支援教育総合研究所である成果物においては、改変せず教職員の研修等に活用して構いません。その場合、出典を明記してください。

お知らせ

2024.08.09 特総研リポジトリ（通称：とりぽ）を公開しました。

リンク





独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

National Institute of Special Needs Education

